

17年新春号

寒さ厳しい季節/お見舞い申し上げます

この季節かかりやすいのが風邪、インフルエンザ。そして、お口からの感染症ノロウイルスが心配な季節でもあります。外食の際は生ガキなどの鮮度やお店の衛生状況にご注意。

●食物アレルギー・アナフィラキシーとは・・・  
特定の食物を摂取した後にアレルギー反応を介して皮膚・呼吸器・消化器あるいは全身性に生じる症状のことを言います。〈原因〉原因食物は鶏卵、乳製品、小麦、ピーナッツ、大豆製品、そば、ゴマ、甲殻類（エビ、カニ）など。〈症状〉皮膚・粘膜・消化器など多様です。複数の臓器に症状が出現する急性の状態をアナフィラキシーと呼びます。〈対策と治療〉「原因となる食物を摂取しないこと」が予防の基本です。発症したら、受診いただいてアレルギーに対する治療（内服や注射）となります。

## ●卵巣がん増加

卵巣がんはもともと欧米に多い癌でしたが、少産化や食事の欧米化で増加傾向です。卵巣は「沈黙の臓器」と言われ、症状が出る頃には進行しているケースも多く、経膈超音波での早期発見が重要です。年に一度の婦人科検診（当院）をお勧めします。

●インフルエンザ大流行  
季節性インフルエンザのウイルスは、A/H1N1亜型、香港型、B型の3種類があり、ウイルスの変異が起きて鳥インフルエンザからヒトへの感染も心配な季節です。当院では、迅速検査テストを行っています。

## ●ピロリ菌のはなし

ピロリ菌感染があると、なんとなく胃がすっきりしない状態が続いたり、胃潰瘍や胃がんのリスクになります。胃がんリスク検診とか、ABC検診と言われている健康診断で陽性と診断されたなどで、ピロリ菌の除菌を希望される方が多くなってきました。当院では内視鏡診断、ピロリ菌確定診断を毎日行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

## ●感染性胃腸炎 流行本格化！

11月から2月にかけて、ノロウイルス感染が最も多くなります。牡蠣などの二枚貝から感染する食中毒の原因元や、「ヒトからヒトへ」の感染ルートも増えています。潜伏期間は平均1～2日で、症状は比較的激しい下痢、嘔吐などですが、軽い症状であることもあります。予防法は手洗いをしっかり行い、十分に加熱処理したものを食べる。また、二次感染を防ぐためには迅速診断を受け、陽性となれば塩素系消毒薬を使う必要があります。